

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

名称：	あおぞらウィンクルム保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	園長 大野智子	定員(利用人数)：	101 名
所在地：	〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-185-2 のびのびプラザ大宮2F	TEL	048-782-8716

③評価実施期間

平成27年9月1日（契約日）～平成27年12月25日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

子育て支援のランドマークとして地域をけん引しています

トワイライト事業や一時保育など地域のニーズに応える活動がなされており、「世代間交流」と題され、高齢者の教養講座との親睦も図られています。園は乳幼児の子育て支援を中心にした複合施設の2階にあり、建物全体で協調しながら子育て支援のランドマークとして存在しており、地域の子育て支援をけん引しています。

「食育の充実」とは本園のためにある言葉

年間食育計画の策定、クッキング保育、いわしの手開き、レストランごっこ、ピクニックランチ等々多様な取り組みがなされています。「充実した食育への取り組み」とは本園のためにある言葉と解します。おやつに対しても「食事の一環」として取り扱っており、昼食も含めたトータルなバランスを考えて手作りの品が提供されています。

配慮ある保育は職員の育成がもたらしています

保護者からの要望に対しては判断基準をもったの検討、連絡帳を一生の思い出として捉える心配り等々手塩にかける保育の中に様々な配慮と工夫がちりばめられています。これらを実践できるよう「木を見て森を見ず」を防ぐ視野・合同研修による一体感・スキルアップチャートでの法令知識・現状打破やマンネリ化防止のための意欲を持ち合わせた職員の育成に取り組んでいます。

◇特にコメントを要する点

障害をもつ方々のボランティア受け入れを検討しています

今年度は、障がいをもつ子どもの受け入れがありませんでしたが、発達等の気になる園児については配慮をもって支援にあたっています。様々な方々との交流を推進している園の方針から障がいを持つ方々のボランティア受け入れを検討しており、実現が期待されます。

お米を苗から植えることを企画しています

プランターでの季節野菜の栽培など限られた環境の中で様々な工夫をもった取り組みがなされています。来年度はお米を苗から植える取り組みを思案しており、秋の収穫後に皆で楽しく食す姿が目に見えます。

更に職員の研鑽に取り組む意向をもっていきます

職員の経験・適性・受講歴などを勘案しながら外部研修への派遣が行われており、来年度は唄・ダンス・遊びの展開などの研修への参加が検討されています。またスキルアップ試験についても時期の変更を予定しており、職員研鑽に対して更に取り組む意向をもっていきます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度お忙しい中、本園の為にご足労頂き心より感謝申し上げます。また、過大な評価を頂くことが出来、心から嬉しく思っております。開園してから3年目を迎え、第三者評価を受審することにより、今まで培って来た事や保育に対する思い等をまとめる事が出来、また確認する事も出来ました。受審した事により、職員間の連携も一層深まり、チームワークと信頼関係を強化するためのコミュニケーション能力等の基盤の定着に繋がりました。子どもたちにとって何が一番良いのか今後の課題を見つけることも出来ました。今後も更に視野を広げ、地域のニーズに合った「安心感」のある施設づくりに努め、利用者と職員との信頼関係を築き、コンセンサスの構築による利用者（子どもと保護者）の精神的安心を組織的に担保していきたいと思っております。子どもたちが愛されている事を実感できる保育をこれからも実践して参ります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり